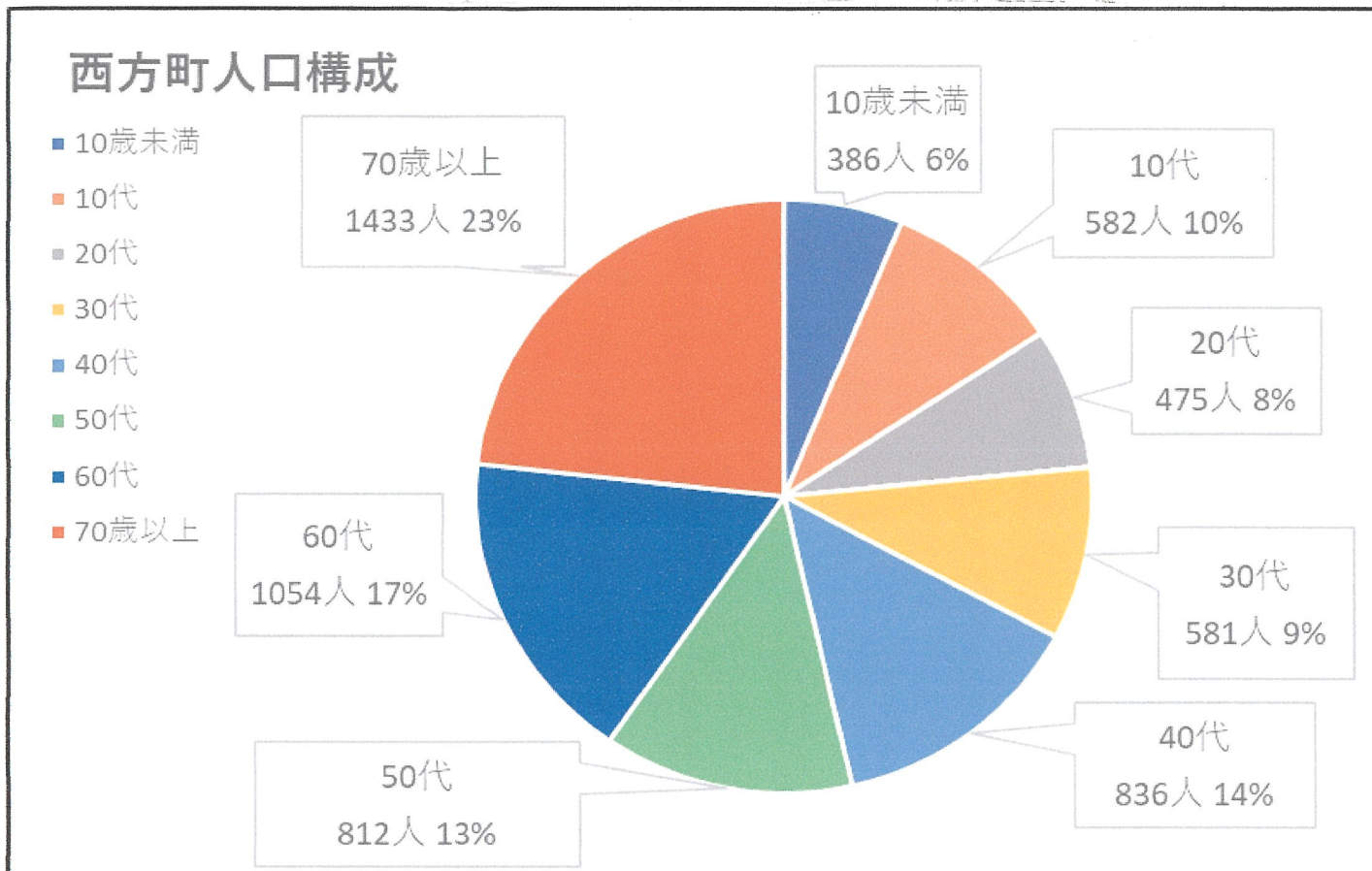


令和4年度 西方商工会管内経済動向の分析

商工会では、株式会社日本統計センター(本社：福岡県北九州市)が提供する商圈分析システム「MieNa(ミーナ)」を活用し、西方町の地域経済動向を分析しましたので、どうぞご活用下さい。

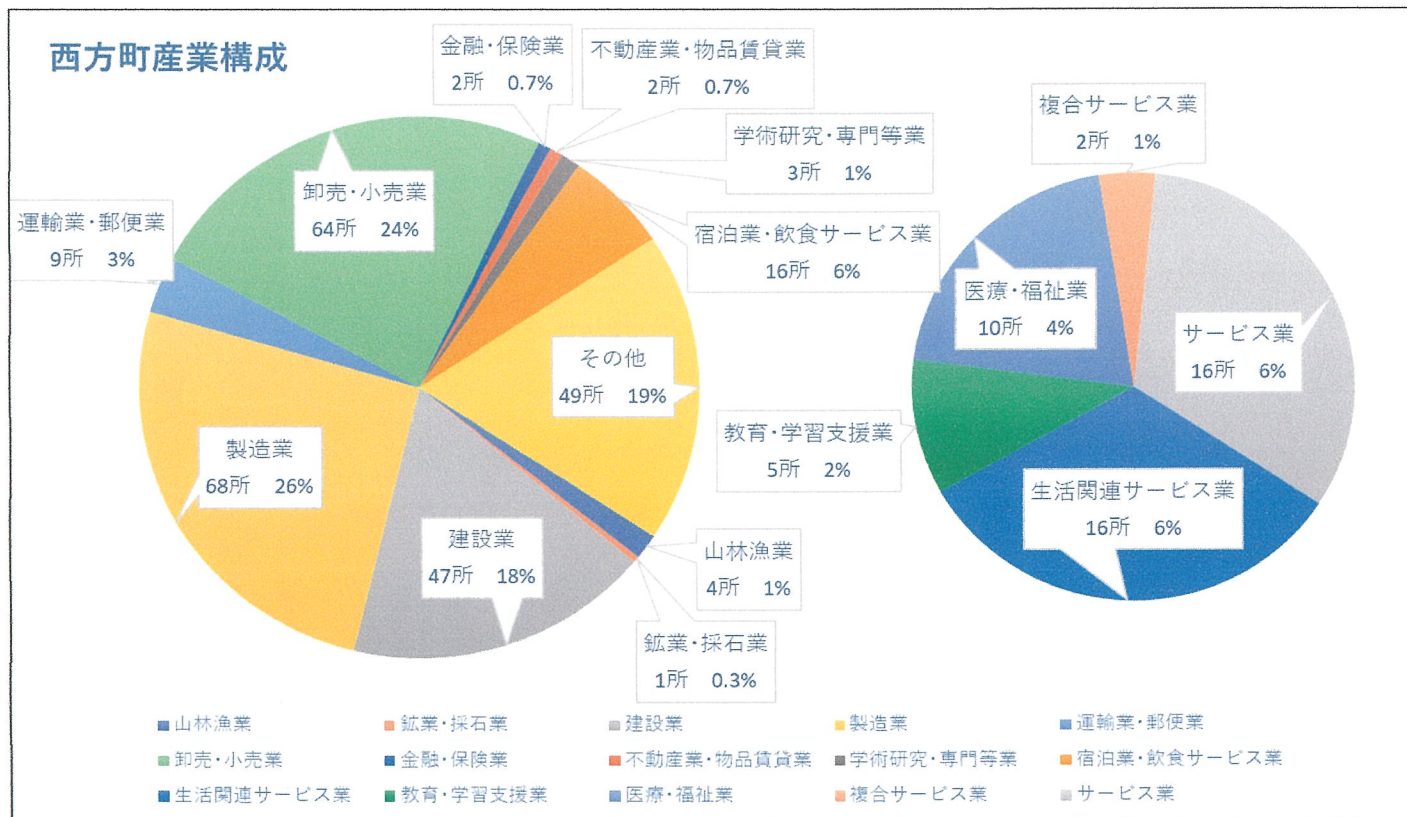
①西方町人口について (MieNa2020年度版単会エリア別レポートより)



分析結果

- ・当地域の人口は2019年の住民基本台帳によると6,159人。世帯数は2,221世帯である。
- ・年代別人口では70歳以上の層が一番多い。また、50・60代は他エリア平均値を超えており、今後益々高齢化が進んでいく。
- ・昼間人口（主に地域外から働きに来ている人を含む、買物客は含まない）は、5年間で5.08%上昇し6,335人である。
- ・労働力人口比率及び就業者比率が平均より高いことから、宇都宮西中核工業団地を中心に当地域に働きに来ている人が多いと思われる。
- ・持ち家世帯比率が人口の全体に対し94.83%、核家族世帯比率57.76%であることから、アパート等の賃貸住宅の需要は少なく、今後も核家族化が進むと見られる。

②西方町産業について

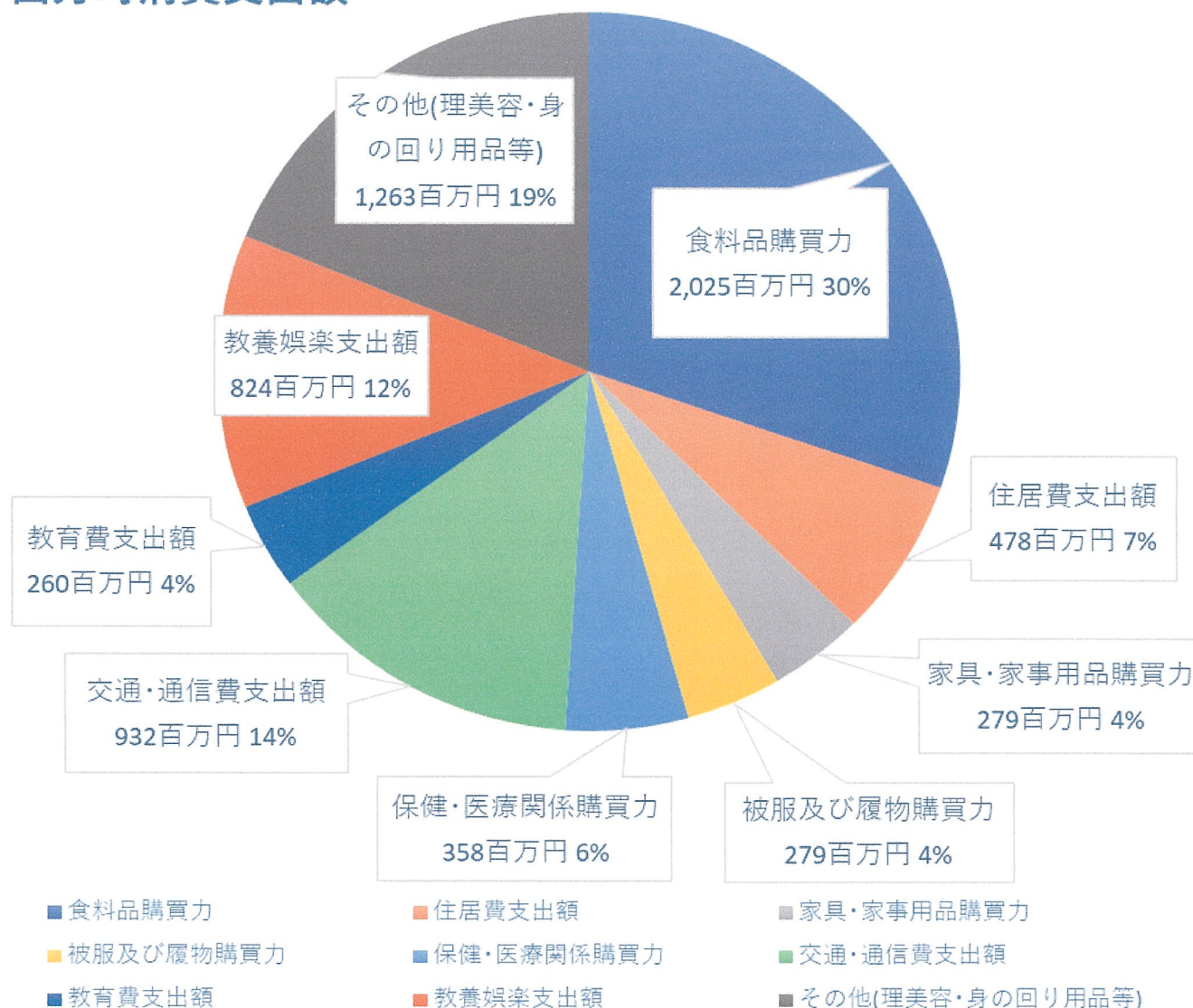


分析結果

- ・当地域の産業は、①製造業68事業所 26%、②卸売・小売業64事業所 24%、③建設業47事業所 18% この3大業種が大きく占めている。
- ・20人以上規模の事業所比率が、他エリアと比較しても大きい。よって昼間人口が多いのは工業団地内にある製造業会社に勤めている人が多いと推測する。
- ・また、持ち家世帯数が多いことから新築や住宅リフォームや修繕等の需要があり、昔からの建設業事業所が存続しているものと思われる。
- ・下図において当地域は食料品購買力が高く、今ある卸売・小売業の事業所存続が重要である。お店がなくなれば買い物難民が増え、住民による購買力は失われ、地域経済に大きなダメージを与えることは必至である。

③西方町消費生活について

西方町消費支出額



分析結果

- ・当地域の消費力は食料品、住居費、保健・医療費、教育費、教養娯楽費が、他エリア平均を上回ってる。
- ・住居費が高いのは、持ち家世帯数が多いことから住居新築・リフォーム・修繕費の支出が増えているからであると推測する。
- ・当地域には西方病院が存在することから薬局関係も多く、また高齢者が通院していることから保健・医療関連消費力が高いと思われる。
- ・当地域は子ども数が少ない割には教育費支出額・教養娯楽支出額比率が平均より高い。今後需要が高まるようなら、新規開業・新規顧客開拓するのにベターな業種となり得るかもしれない。